

	2010年5月	2010年6月	2010年7月	最近の経済動向
世界	-ギリシャ財政悪化で世界株全面安 -GDP:10年:OECD:日3%、米3.2、欧1.2 -世界半導体売上:4月:50%増	-G20:景気配慮の財政健全化、保護貿易排除 -APEC 貿易相会合:経済統合の推進、WTO 交渉推進 -米欧長期金利低下 -GDP:10年:世界経済 3.3%世銀 -世界半導体売上:5月:22%増		・中国、インド、NIES/ASEAN 経済は内需拡大等で力強く回復し世界経済を牽引。米、日の先進国経済は景気対策効果、新興国への輸出、投資収益の増加等で回復傾向。 欧州、米国不安の影響が懸念材料。
日本	-政策:日銀、環境・R&D 融資銀行に低利融資 -GDP:1-3月:前期年率5増、輸出6.9、投資0.6消費0.4 -株価:25日一時9,458円台ギリシャ、11日1万809円 -雇用:4月:失業率5.1%、0.1ポ悪化 -所得:4月:現金給与1.5%増 -消費:4月:消費0.7%減、小売4.9%増、車販売24.1%増 -受注:4月:機械29.4%増、工作機械3.2倍 -生産:4月:鉱工業25.9%増、 -貿易:4月:輸出40.4%増、輸入24.2%増 -収益:3月期:純益:三菱商26%減、住商28%減、物産16%減、スズキ5%増、三菱電2.3倍、コマツ3.1倍、ダイキン10%減、ミネベア88%増、HOYA51%増、営業益:上場企業25%増2期ぶり+、パナソニック2.6倍、東芝1,171億円、ソニー320億円、最終:トヨタ2,094億円、日産423億円、ホンダ447億円、ニコン300億円、NEC114億円、日立1,069億円赤、三洋電487億円赤、森精機346億円赤 -投資・開発:三菱電・電子メモタ生産、エルビータ世界最小DRAM 開発、1-3月:設備投資11.5%減、10年度:設備投資:11%増、製造業17.3%増、研究開発:自動車8%増、電機微増、11年:東芝LED一貫生産、12年迄:東芝投資・開発2.4兆円、三井物産資源開発、海外インフラに1.2兆円、	-政治:鳩山首相辞任、新成長戦略決定 -GDP:10年:2.6上方修正輸出好調 -株価:9日一時9,425円ハンガリー、21日一時1万206円 -物価:鋼材値上げ1.9万円、5月:消費者1.2%低下 -雇用:5月:失業率5.2%、0.1ポ悪化3カ月連続、労働人口0.7%減 -所得:5月:勤労者世帯収入2.4%減 -消費:5月:消費支出0.7%減、小売業販売2.8%増、新車販売28%増 -受注:5月:機械17.2%増、工作機械2.9倍 -生産:5月:鉱工業20.2%増、自動車30.6%増 -貿易:5月:輸出32.1%増、輸入33.4%増 -投資・開発:ニコン半導体製造装置1千億円、日立電池2500億円	-政治:民主党参院選大敗 -株価:1日9,191円、14日一時9,785円 -所得:夏ボーナス0.75%増 -消費:猛暑夏商戦活発、6月:新車販売17.4%増 -受注:6月:工作機械2.4倍7カ月+ -生産:半導体製造装置受注増 -収益:1-6月期:キヤン営業益2.8倍1,820億円 -投資・開発:三菱電パワー半導体倍増100億円、トヨタ家庭充電型ハイブリット生産12年、ホンダ13年販売、東芝長期連続運転次世代原子炉開発	(前々月)・GDPは輸出主導で回復傾向、デフレ傾向続く。企業業績前3月期営業益2期ぶりプラス。株価は欧州信用不安で低迷。輸出高水準回復。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率やや悪化、個人消費は車販売好調で緩やかな回復傾向。受注、生産も回復傾向。経済は回復傾向が続く。持続的な景気回復、雇用確保が最大課題 (前・今月) ・GDPは輸出主導で回復傾向、デフレ傾向続く。企業業績前3月期営業益2期ぶりプラス。株価は欧州信用不安、米先行き不確実で低迷。輸出高水準回復。設備投資回復傾向。所得は緩やかに回復、失業率やや悪化、個人消費は車販売好調で緩やかな回復傾向。受注、生産も回復傾向。 持続的な景気回復、雇用確保が最大課題
アジア・大洋州	-アジア:投資マネー流入、アジア株全面安ギリシャ問題 -ASEAN:1-3月:GDP前期比年率17.7%、車販売42%増 -中国:賃上げ要求加熱、物価上昇、上海万博開催(11月迄)、預金準備率0.5%引上げ17%へ、中国株年初来安ギリシャ問題、4月:輸出30.5%増、輸入49.7%増、新車販売30%増、消費者物価3%増、3月期:レノボ最終益116億円黒 -台湾:1-3月:GDP前期比年率11.3%増投資好調、4月:輸出57.9%増 -韓国:サムスン:液晶パネル440億円、3D・LEDTV増産、20年迄設備投資・研究開発1.9兆円、LGディスプレイ液晶パネル600億円、1-3月:純益:現代自19.2%増950億円、営業益:上場企業2.4倍、サムスン前期比28%増3,750億円、LG2.6%増440億円、LGディスプレイ2倍、ハイニックス13%増670億円 -タイ:4月:車生産96%増国内・輸出好調 -シンガポ:1-3月:GDP前期比年率15.5% -インド:4月:鉱工業生産17.6%増、新車販売39%増23万台、3月期:タタ最終益500億円黒	-アジア:7日アジア株全面安 -中国:5月:輸出48.5%増、輸入48.3%増、対中直接投資27.5%増、消費者物価3.1%増、自動車販売28.4%増鈍化 -台湾:5月:輸出57.9%増 -韓国:サムスン:32ナノ量産体制、アップル専用LSI製造3,300億円投資、現代・大宇風力発電新工場、5月:鉱工業生産前月比2.6%増、新車販売5.6%減、10年:GDP5.9%上方修正 -ASEAN:5月:新車販売37%増 -タイ:5月:新車販売2.1倍 -インドネシア:5月:新車販売69%増 -フィリピン:5月:新車販売34%増 -マレーシア:5月:新車販売16%増 -インド:5月:鉱工業生産11.5%増、資本財生産34.3%増、新車販売39%増24万台、卸売物価10.2%増	-アジア:利上げ相次ぐ韓国、タイ、マレーシア、インド、1-6月:アジア企業資金調達17%増25兆円、 -中国:上海株低迷、6月:輸出43.9%増、新車販売23.5%鈍化、4-6月:GDP10.3%増3期+、消費物価2.9%増 -台湾:6月:輸出34.1%増携帯、液晶 -韓国:0.25%利上げ年2.25%、6月:輸出32.4%増、輸入36.9%増、4-6月:営業益:サムスン87.3%増3,600億円 -シンガポ:4-6月:GDP前期比年率19.3%増 -タイ:1-6月:対内直接投資97%増 -インドネシア:6月:消費者物価5%増 -ベトナム:1-6月:GDP6.1%増、小売・サービス売上26.7%増、 -インド:6月:新車販売32%増、卸売物価10.5%増	(前々月)中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資好調、企業業績好調、GDPは高水準。インド経済好調、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも急回復。景気の持続的回復課題。中国、インド、ベトナム等でインフレ懸念 (前・今月)中国は、固定資産投資・生産・消費高水準、輸出回復で経済の拡大続く。韓国、台湾は輸出・生産・投資好調、企業業績好調、GDPは高水準。シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム、インドネシア、フィリピンも急回復。インド経済好調。景気の持続的回復課題。中国、インド、ベトナム等でインフレ懸念

北米	<p>-GDP:1-3月:前期比年率2.7%、3四半期連続+ 個人消費3%、設備投資2.2%、住宅▲10.3%</p> <p>-株価:7日 NY株1万520^{ドル}、キリシヤ財政危機</p> <p>-雇用:4月:失業率9.9%、0.2ポイント悪化雇用29万人増</p> <p>-物価:4月:消費者前月比0.1%下落</p> <p>-所得:4月:個人所得前月比0.4%増</p> <p>-消費:4月:個人消費前月比横這い、小売売上高前月比0.4%増5ヶ月+、卸売前月比0.7%増、新車販売19.8%増、住宅着工前月比5.8%増、新築販売前月比14.8%増</p> <p>-受注:4月:耐久財前月比2.9%増</p> <p>-生産:4月:鉱工業前月比0.8%増2ヶ月+</p> <p>-収益:2-4月:純益:シスコ63%増、2,040億円、HP28%増、デル52%増400億円、</p>	<p>-景気:FRB、全地域で経済活動改善</p> <p>-株価:9日9,816^{ドル}、欧州財政不安、21日一時1万540^{ドル}</p> <p>-雇用:HP9千人削減、5月:失業率9.7%0.2ポイント低下、雇用43万人増加</p> <p>-物価:5月:消費者前月比0.2%下落</p> <p>-所得:5月:個人所得前月比0.4%増</p> <p>-消費:5月:個人消費支出前月比0.2%増、小売売上高2.6%増、6ヵ月連続+、卸売前月比0.3%減、新車販売19.1%増、住宅着工前月比10%減3か月ぶり、新築販売前月比32.7%減過去最大、4月末減税終了</p> <p>-受注:5月:耐久財16.5%増</p> <p>-貿易:5月:輸出前月比2.4%増、輸入2.9%増</p> <p>-生産:5月:鉱工業前月比1.3%増3ヶ月+</p> <p>-投資・開発:IT企業手元資金急増M&A、R&D加速</p>	<p>-GDP:10年:3~3.5%下方修正</p> <p>-景気:緩やかな回復、先行不透明</p> <p>-財務・金融:連邦財務10年末GDP比62%、金融規制法案可決</p> <p>-株価:3日9,655^{ドル}、17日1万98^{ドル}</p> <p>-雇用:6月:失業率9.5%0.2ポイント低下、</p> <p>-物価:6月:卸売前月比0.5%下落、消費者0.1%下落</p> <p>-消費:6月:小売売上高3%増、新車販売14.4%増、住宅着工5.8%減</p> <p>-生産:6月:鉱工業前月比0.4%増4ヶ月+</p> <p>-収益:4-6月:最終益:主要500社27%増、純益:GE16%増、IBM9%増、TI3倍、アップル78%、J&J8%増、増、グーグル24%増</p> <p>-投資・開発:GE環境・エネルギーR&A倍増、10年:インテル設備投資15%増、IBM医療研究1億^{ドル}</p>	<p>(前々月)GDPは1-3月迄3期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安で下落傾向。企業業績好調。輸出は増加傾向。失業率高水準もやや低下、個人消費は車販売好調、住宅も底打ちで回復傾向。投資も回復傾向。受注・生産も回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>GDPは4-6月迄4期連続+。大幅な財政赤字。株価は欧州信用不安、先行き不確実で下落傾向。企業業績好調。輸出は増加傾向。失業率高水準もやや低下、個人消費は車販売好調、住宅は減税終了で縮小傾向。投資も回復傾向。受注・生産は回復傾向。高水準の失業率、財政赤字拡大が懸念材料。景気回復、雇用確保が課題</p>
欧州	<p>-GDP:1-3月:ユーロ0.6%増、個人消費0.1%減、投資1.1%減、輸出2.5%増、独1.5%、仏1.2%、伊0.6%、蘭0.1%、英0.2%減、スペイン1.3%減</p> <p>-政策:EU、ユーロ防衛のためIMFと89兆円の緊急融資制度創設合意</p> <p>-GDP:10年:欧州0.9%(EU委)</p> <p>-雇用:4月:失業率ユーロ10.1%0.1ポイント上昇、独7.1%やや低下、蘭4%、スペイン20%</p> <p>-消費:4月:小売売上高:ユーロ1.5%減、独1%減、仏1.9%減、英0.5%増、新車販売:ユーロ6%減、110万台、独32%減、仏12.9%増、英23.9%増、</p> <p>-受注:4月:製造業受注:ユーロ22.1%増、独32.4%増、仏8.4%増、英24.9%増</p> <p>-貿易:4月:輸出:ユーロ18%増、輸入19%増</p> <p>-生産:4月:鉱工業:ユーロ圏9.5%増輸出、独13.9%増、仏9%増、伊7.8%増、英0.7%増、蘭14.7%増、ポーラ8.6%増</p>	<p>-GDP:10年:欧州1.5→1.3(中銀)</p> <p>-雇用:5月:失業率ユーロ10%、スペイン19.9%</p> <p>-消費:5月:新車販売:欧州9%減、独35%減、仏11.5%減、伊13.8%減、英13%増、ポーラ1.2%増</p> <p>-生産:5月:鉱工業9.4%増、3ヵ月+</p> <p>-収益:8-4月:最終損:ポルシェ800億円</p>	<p>-財務・金融:中銀金利据え置き</p> <p>-消費:6月:新車販売:欧州6.9%減、独32%減</p> <p>-収益:4-6月:純益:フィリップス5.8倍290億円、新興国、フィアット130億円赤字、最終益:ソニーエリクソン13億円、</p> <p>-投資・開発:ABBスマートグリッド事業強化、11年:欧州委R&D投資7,200億円</p>	<p>(前々月)GDPは独を中心に底打ち傾向。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向、輸出回復傾向、投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月にマイナスに転化、個人消費もマイナスへ。受注、生産は回復の兆し。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p> <p>(前・今月)</p> <p>GDPは輸出主導で微増。欧州信用不安で株価下落傾向。企業業績は回復傾向。輸出増加傾向。投資低迷も将来投資有。失業率最悪の水準、車販売は4月にマイナスに転化、個人消費もマイナスへ。受注、生産は回復の兆し。景気回復、雇用確保、ユーロ防衛が課題</p>
中東ア	<p>-GDP:中東・北アフリカ:9年1.5%、10年4.3%</p> <p>-サウジアラビア:双日、仏スエズと火力発電受注2千億円</p> <p>-トルコ:1-3月:GDP11.7%増</p>	<p>-サウジアラビア:現代重発電プロジェクト受注1,470億円</p>	-	<p>・主要国経済は資源価格の上昇で回復の兆し。一方、太陽光、原子力、電力、石化プロジェクト活性化。ドバイショックの鎮静化、イラク・アフガニスタンの情勢の安定、景気回復が課題</p>
中南米	<p>-ブラジル:11日ブラジル株年初来安値、製造業支援開始(輸出企業への低利融資、税金還付)、4月:新車販売18.6%増、27.7万台、1-3月:GDP前期比年率11%、資産7.4%増</p>	<p>-ブラジル:0.75%利上げ年10.25%へ、4月:消費者物価4.5%、5月:自動車生産14.9%増、自動車販売1.6%増鈍化</p>	<p>-ブラジル:0.5%利上げ年10.75%、6月:新車販売12.4%減11ヵ月ぶり、前年の反動</p>	<p>・ブラジルは景気回復もインフレ・利上げで冷却化。メキシコ、ベネズエラ、チリは成長横這い。持続的回復が課題。</p>
露東欧	<p>-GDP:10年:中・東欧・ロシア3.7%、ロシア4.4%、旧ソ連圏4.5%、バルト3国1.8%、</p> <p>-ロシア:4月:新車販売20%増16万台</p>	<p>-ロシア:外資優遇促進、税制優遇、投資環境整備、5月:新車販売31%増</p>	<p>-ロシア:6月:原油生産前月比0.5%増過去最高、新車販売45%増3ヵ月+</p>	<p>・ロシアは石油価格の回復、新車販売等内需回復傾向。持続的回復が課題。</p>